



Kikuna Memorial Hospital
News Letter

vol.60

2011年1月号

ご自由にお持ちください

院長あいさつ「新しい年を迎えて」

特集 1

縁の下の力持ち！臨床検査科
検査科レポート vol.1

特集 2

みなさまの声にお答えします

●菊名記念病院 20年のあゆみ

●ISO9001：2008 認証取得

●おくすりの話 vol.1

●NEWS

2011年糖尿病教室開催のお知らせ

かかりつけ医コーナーを開設しました

●今月のトピック

携帯電話使用エリアを設置しました



新しい年を迎えて

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。昨年は、当院にとっては大きなイベントが続いた一年でした。地域医療支援病院の承認、ISO9001の認証、日本医療機能評価機構による病院機能評価の再認定、開院20年記念祝賀会の開催、院長交代等、大きな節目の年でした。地域医療支援病院の承認やISO9001の認証は、これが終着点ではなくむしろこれからが本番であり、その名前に値する活動や取り組みを病院全体として継続的に行っていくなくてはなりません。これからも地域の皆さまに少しでもお役にたてるよう職員一同頑張っていく所存です。皆さま方のご支援ご協力を何卒よろしくお願申し上げます。

すでにお知らせしておりますが、開院20年を迎え、当院の基本理念、目標の見直しを行いました。そのことについて、医局会や職場連絡会で所信を職員に話しましたが、下記に要旨を記します。

「皆さん、お疲れ様です。このたび、9月1日から山本理事長の後を継ぎ、菊名記念病院の病院長に就任致しました。重責を担い、身の引き締まる思いです。微力ではありますが、専心努力し、菊名記念病院の発展に最善を尽くす覚悟でございます。

菊名記念病院は、約20年間、山本理事長の強力なリーダーシップのもと、民間病院としては、他に先がけて、日本医療機能評価機構の認定取得、電子カルテ導入、DPC対象病院など、数多くの先進的な試みを行ってきました。私たちの病院の機敏に変化し、新しいものを取り入れていく、この良き伝統は、これからも受け継ぎ、さらに伸ばしていかなければならないと思います。病院の大きな方向性は変わりませんが、

● 院長挨拶

菊名記念病院 院長
中山 宏幸
 Hiroyuki Nakayama



開院20年を迎えたこともあり、病院の基本理念、目標を見直すことといたしました。私たちの病院の役割は、開院当初も現在も変わらず、急性期医療です。地域の皆様に質の高い急性期医療を継続的に提供することが私たちの病院の使命と改めて肝に銘じ、職員一同、努力を結集させ邁進していかなければなりません。そのためには職員がみな同じベクトルを向き努力を結集させていくことが必要です。

そういう観点から、私たちの病院の使命（Mission）を、「質の高い急性期医療を通して地域社会に貢献します」とし、私たち菊名記念病院 病院職員が常に念頭に置くべき言葉としました。

さらに病院のビジョンを以下として掲げました。

- 1 「選ばれる病院へ」
- 2 「急性期医療のベストホスピタルへ」

ビジョンとは今後、3～5年後に必ずそのような病院になるという約束です。患者さまや患者さまの家族から選ばれる病院、近隣医療機関の先生方から選ばれる病院、救急隊から選ばれる病院、医師・看護師・コメディカル・学生から選ばれる病院、そういった選ばれる病院に3年後、5年後には必ずなりましようということです。

急性期医療のベストホスピタルとは、患者さまや患者さまの家族にとってベストな病院、医療・看護・サービスがベストな病院、地域でベストな病院、医療経営指標がベストな病院、そういったベストな病院に3年後、5年後には必ずなりましようということです。そのビジョンを達成するための病院の基本方針を5つ掲げました。

基本方針

- 1 良質で信頼される高度医療の提供
 (質の高い急性期医療・専門医療の提供)
- 2 地域完結型医療の確立
 (緊密な医療連携ネットワークの構築)
- 3 顧客満足度の向上
 (患者の満足、連携医療機関の満足、職員の満足)
- 4 働きやすい、働きがいのある病院
- 5 安定した経営基盤の確立
 (病院の継続性:「ノー・マージン、ノー・ミッション (No Margin, No Mission)」*)
 *「ノー・マージン、ノー・ミッション (No Margin, No Mission)」
 適正な利益なくして使命は果たせない、病院の存続はない。

この5つの基本方針に沿って今後は病院の舵取りを行っていく所存です。

5番目の「ノー・マージン、ノー・ミッション」とは、利益を生まない組織は存続できないという事です。競争に敗れて滅びてしまう企業とは異なり、病院の使命は営利ではありません。病院の使命は、患者さんを救う事ですが、その使命を果たすには利益を生んでようやく新しい設備や新しいサービスを取り入れることができます。このような意味でこの言葉を掲げました。今後はこの5つの基本方針を具体化するために、継続的に取り組みを行っていくつもりです。そのために現在の組織や委員会の若干の改編、新設を行っていきます。また、各所属長はじめ全職員にインタビューを行っていく予定です。

今後、微力ではありますが、先ほど挙げました「私たちの病院の使命」「病院のビジョン」の達成のため、病院長職に全力を注ぐつもりです。

まだまだ課題は少なからずありますが、協力しながらひとつひとつ課題をクリアしていきたいと思ひます。そのためには職員の皆さんの力が不可欠です。今後とも皆さま方のご協力ご支援をよろしくお願いたします。」

新たな「病院の使命」「病院のビジョン」を旗印として、これからも地域の皆さまに必要とされる病院を目指していきたいと思ひます。病院の職員一同一丸となって今年も頑張るまいりたいと思ひます。連携医療機関の諸先生方には、本年もご指導ご鞭撻の程よろしくお願申し上げます。



縁の下の力持ち！ 臨床検査科

臨床検査とは？

臨床検査とは、病気の診断や治療、検診のために行う検査のうちの 1 つです。患者さまから取り出した材料を「検体」といいますが、その検体を調べる「検体検査」と、患者さまの体に直接触れて行う「生理機能検査」があります。臨床検査は、体の状態を知るために大変重要な役割を担っていますが、診療の前面に出ることはあまりありません。皆さまの見えないところで、縁の下の力持ちとして医療を支えている分野です。専門学校や大学で専門的な事項を学び、国家資格を持った臨床検査技師として医師のサポートを行っています。

検体検査室・生理学検査室内での仕事だけでなく、院内のあちこちに伺い、当院では現在、総勢 26 名の臨床検査技師が業務にあたっています。

主な仕事内容

問診や聴診、触診だけでは判断ができない場合や、その病気が重い・軽いなど状態を数値化する必要がある場合に、医師の指示により臨床検査を行います。

検体検査では、検体となる尿・血液・痰・組織などを用いて、化学的あるいは形態学的に検査し、基準値と測定値を比較したり、モノの有無で結果を求めます。例えば、血液中の炎症指数が基準より高いか低いか、痰の中に病原性の細菌がないかなどを検査します。中でも血液検査からは、より多くの情報を得ることができ、医師が最も頼りにしている検査といえます。

生理機能検査は、心臓や脳といった体の中の動きを電氣的にとらえて波形として表したり、体の内部の状態を、超音波を利用して画像にして観察する検査を行います。心電図やエコーの検査がその例です。

また、検査の仕事は検査室内だけでなく、入院患者さまや外来患者さまの採血、内視鏡検査室で機材の洗浄、患者さまの誘導、医師の検査サポートなど幅広い業務を行っています。

検査機器のご紹介

2010 年 11 月に、新しい検査機器を導入しました。今回導入したのは、患者さまから採血した血液を検査するための機器です。保守点検中や故障中でも検査がストップしないよう、それぞれ 2 台体制としました。

●血液学自動分析装置

血液中の白血球や赤血球、血小板の数を測定します。また、ヘモグロビン濃度や赤血球の大きさなども測定し、貧血の有無や炎症の度合いなどを調べることができます。1 件あたり約 1 分で検査することができます。



▲セルダインルビー（アボットジャパン）

●生化学自動分析装置

血液を遠心分離器で細胞成分と液体成分（血清）に分け、血清に含まれる成分を分析します。肝機能、腎機能、高脂血症などを調べることができます。検査項目にもよりますが、1 件あたり約 15 分で検査を行うことができます。



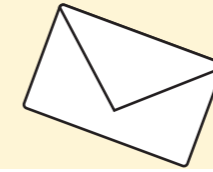
▲AU680（ベックマンコールター）

外来診察前検査では、検体処理時間も含め結果報告まで約 30 分となります。

採血から検査結果が出るまで



みなさまの声にお答えします。



医療サービス向上委員会

2010年は様々なご意見が寄せられました。改善、対応しました内容の一部をご報告いたします。

床頭台の使い方がわかりにくい

ご迷惑をおかけして申し訳ございません。床頭台の使用につきましては、入院時に担当の看護師や病棟クランクよりご説明をさせていただくと共に、床頭台の引き出しに説明書を設置しております。また、使用方法が分からない場合は、その都度ご対応させていただきますので、看護師や病棟クランクへお気軽にお問い合わせください。

クレジットカードでの支払いを検討してほしい

ご不便をおかけして申し訳ございません。現状、自動精算機ではクレジットカード精算が出来かねます。初診受付にてクレジットカード精算が可能になっておりますので、高額のお支払いに関しましては初診受付にお声がけいただき、ご精算ください。

西玄関の敷地内に手すりを設置してほしい

ご要望を賜りありがとうございます。西玄関出入口には女性外来棟が隣接している関係上、手摺りの設置には十分に検討する必要があります。線路側からの病院への出入り口付近には段差があり、多少歩きにくくなっている場所がございます。ご不便をおかけいたしますが、歩行の際には十分にご注意願います。病院としてご要望にお応えできるよう、前向きに検討してまいります。

退院時の会計が遅すぎる

退院時会計の不便で患者さま並びにご家族さまにご迷惑をおかけしたことを、心よりお詫び申し上げます。退院手続きに関して、病棟看護師と医事課会計係が連携をとり、患者さまへのストレスを避け、スムーズに行うよう尽力しておりますが、多少お待たせしてしまう状況が出てくる場合がございます。その際は、職員がお声をかけさせていただくよう徹底いたしますので、ご理解のほどお願いいたします。また、患者さまへのお気遣いが不足しておりましたことを心からお詫び申し上げます。職員一同、より良いサービスに努めてまいります。

ナースコールや依頼した事に対しての対応が遅い

ご迷惑をおかけして大変申し訳ございません。患者さまへの対応を迅速に行い、病棟看護師と情報を共有し、注意を促すとともに、ナースコールの先には「患者さま」が居らっしゃるという認識を深めるよう、指導いたしました。

限度額認定証の写しを提出したが、精算時に適用されず家族側からの申し出により適用になり、不信感を抱いた

ご迷惑をおかけして大変申し訳ございませんでした。当院では患者さまから頂戴した保健情報を当日中に登録し、さらに二重チェックとして別の職員が確認を行っております。しかし、医事課事務職員の確認不足により、ご指摘いただいた問題が生じてしまいました。以後このような事がないよう、職員には当日中に二重チェックの実施を徹底するよう、注意を促しました。

受付職員の対応に愛想がない

病院の顔として、受付業務を行う事務の対応に愛想がないというご意見をいただいた事は、医事課職員としてお恥ずかしい限りです。月に一度、勉強会を行っており、ご意見に基づく接遇に対する指導を重点的に行い、意識改善を行いました。

ご意見をお寄せください。

院内各所にご意見箱を設置しております。お気づきの点がございましたら、是非ご利用ください。



医療サービス向上委員会とは？

当院にご来院される方が安心して利用できるような病院作りを目指し、その具体案を検討・立案するため、月に一度各部署より代表者を集めて会議をしています。みなさまから寄せられたご意見をもとに、業務の質の向上や、設備の改善を実施しています。

Letter from the user

二十年のあゆみ



当院は5つの特色を掲げ、開院20年を迎えました。

- 地域医療支援病院
- ISO9001認証取得病院
- 日本医療機能評価認定病院
- 横浜市二次救急拠点病院
- 厚生労働省臨床研修指定病院

- 1991 7月15日個人病院として開院(院長 山本 登/166床)
常勤医師7名。
訪問看護(在宅医療)開始
- 1992 基準看護の承認
人工透析の開始
- 1993 6階病棟がオープンし、218床へ
- 1995 横浜市病院協会・神奈川県病院協会・医師会 入会
- 1996 { 救急指定病院の認定(横浜市病院群輪番制参加)
(社)全日本病院協会入会
(社)日本病院会入会
- 1997 医療法人五星会菊名記念病院として法人化
デイケアセンター開設
- 1998 { 訪問看護ステーション開所
平成12年度横浜市保健医療功労者
市長表彰(救急医療)受賞
地域医療サービスセンター開設
- 2000 (財)日本医療機能評価機構/一般病院種別(B)認定
- 2001 開院10周年/記念式典開催
記念誌「菊名記念病院10年のあゆみ」発刊
- 2003 { 中山副院長就任
訪問介護ステーション開所
病診連携の会発足
臨床研修指定病院に認定
- 2004 初期臨床研修医の受け入れ開始
- 2005 { S棟(新棟)稼働開始
NST稼働施設に認定
電子カルテ稼働開始
入院機能を有するER2・3(救急治療室)稼働開始
血液浄化センター
内視鏡センター
リハビリテーション
- 2006 日本医療機能評価機構の認定病院(Ver.5:一般病院)認定
- 2007 { 「看護施設基準7:1」取得
アンチエイジングセンター診療開始
関連施設「新横浜リハビリテーション病院」開設
- 2009 女性専門外来診療開始
- 2010 { 関連施設「菊名記念クリニック」開設
開院20周年/記念式典開催
中山院長・村田副院長 就任
日本医療機能評価機構の認定病院(Ver.6)認定
地域医療支援病院承認(神奈川県知事)
ISO9001:2008 認証取得病院認定
常勤医師43名。職員506名。

良質で信頼される高度医療を提供するために...



ISO9001:2008

品質マネジメントシステム



▲ISO9001マネジメントシステム登録証

当院は、2010年11月12日に財団法人日本品質保証機構より、ISO9001:2008 マネジメントシステム取得の承認を受けました。



◎ ISOの役割

ISO9001:2008は、組織が提供するサービスや事業などの品質マネジメントシステムに関する国際基準です。サービスや事業などの品質を維持・向上するために、さまざまな業務の手順を文書化し実行していきます。結果、継続的に維持・向上され、質の良いサービスを提供することができます。当院において、ISO認証取得の目的は、「医療サービス品質の向上」と「患者さま満足度の向上」を実現することです。

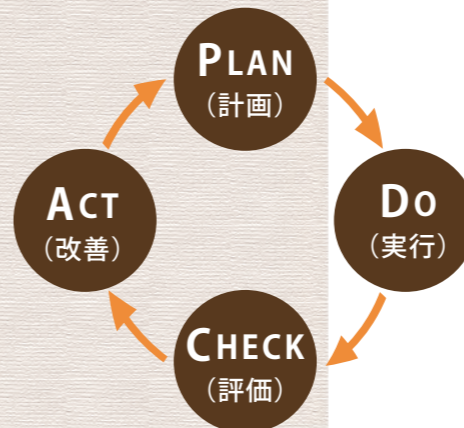
◎ 具体的な取り組み

ISO9001:2008に承認されると、6ヶ月に一度、医療サービス品質が維持されているか内部審査が行われ、3年に一度、第三者機関による更新審査が行われます。第三者機関の審査を受けることで、病院の現状を客観的に知ることができ、より満足度の高い医療サービスの提供につながります。そのために当院では、PDCAサイクル*を活用し、皆さまへ提供する医療サービスの継続的な改善と向上のために、常に目標を掲げ、その目標を着実にクリアしていきたいと考えております。

このような国際基準の認証を得たことは、私達にとって大きな励みであるとともに、患者さまとの信頼の絆をより強く結ぶものと確信しております。今後とも医療サービス品質の向上と、患者さま満足度向上のため、たゆまぬ努力を続けてまいります。



▲審査当日の様子



※PDCAサイクル

Plan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Act(改善)の4段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善する手法のこと。

おくすりの話

当院薬剤師より、生活に役立つ情報をお届けします。 vol.01



ノロウイルスによる胃腸炎のお話

感染性胃腸炎

何となくお腹が気持ち悪い・・・。と思っ
たら、突然の嘔気・嘔吐、下痢、発熱・・・。
これらは、感染性胃腸炎の症状です。感染性胃腸
炎の原因として、主に細菌とウイルスが挙げら
れますが、ジメジメした夏に多いのが細菌性、そ
してまさに今、乾燥した冬に多いのがウイルス性
の胃腸炎です。そして、この原因となるウイルスの
大半を占めているのが、毎年のようにこの時期
流行する「ノロウイルス」です。

ノロウイルスとは?

ノロウイルスは今から約 40 年前に発見され、つ
い最近 (8 年前) 命名されたばかりのウイルスです。
感染力が非常に強く、ほんの少し体の中へ入っ
ただけで急速に増殖します。潜伏期間 (感染してから
症状が出るまでの期間) は 1～2 日で、感染性胃腸
炎の主症状である嘔気・嘔吐、下痢を発症します。
通常は 2～3 日で軽快しますが、その後も 1 週間か
ら 1 ヶ月にわたり、便中にウイルスが排泄されます。

感染経路

主な感染経路は経口感染ですが、感染力の非常
に強いウイルスですので、接触感染や飛沫感染等
の二次感染も容易に起こります。

感染の種類

- ①経口感染
ノロウイルスに汚染された食品を十分に加熱しな
いで食べる (主に牡蠣などの二枚貝)
- ②接触感染
感染した人の便や吐物、また感染した人が触れた
もの (電車のつり革等) へ触れる
- ③飛沫感染
感染した人の便や吐物に含まれるウイルスを吸い
込む

治療

残念ながら、ノロウイルスに有効な抗ウイルス
薬はありません。また、**体内からできるだけ早く
ウイルスを排泄するために、下痢止め※1の服用はせ
ず**、排便によってウイルスを排出するようにしま
す。従って、ノロウイルスに感染した場合の治療は、
嘔吐、下痢による脱水の予防をするための点滴など、
対症療法※2を行うことになります。

※1代表的な下痢止めに、タンナルビン®、アドソルビン®、
フェロベリン®などがあります。これらの薬には注意が必要
です。

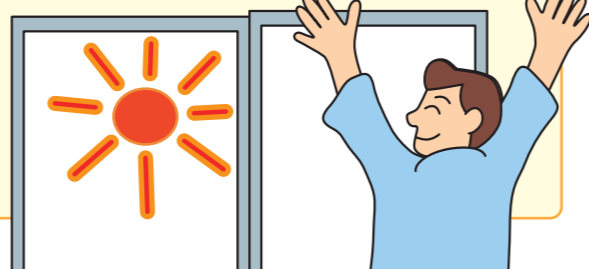
※2 症状がある場合に、その症状を和らげる療法

予防

ノロウイルスに感染しないためにはまず、汚染
の可能性がある二枚貝等の食品は、十分に加熱
(85℃、1分以上) することです。そして、外から帰っ
た際には手洗い・うがいをしっかり行いましょう。
アルコール消毒や石鹼による手洗いで、ノロウイ
ルス死滅させることはできませんが、流水によ
る手洗いで発症を抑えることは可能です。また、
感染した人の便や吐物の処理の際には、手袋、マ
スクを着用してください。汚染されたものを消毒
する際は、塩素系の漂白剤 (ハイター®など) を使
用すると効果的です。

最後に、たとえ感染したとしても、体に備わる免
疫力で防戦することは可能です。軽症もしくは無
症状ですむよう、普段から免疫力を高めておくこ
とが最も重要です。

しっかり食べて、しっかり寝る！
規則正しい生活を！！



2011年 糖尿病教室開催の お知らせ

隔月
第3火曜
実施

当院では 2011 年も糖尿病教室を開催いたします。

日付	テーマ
1/18	総論
3/15	治療
5/17	合併症① ・神経 ・腎臓
7/19	合併症② ・心臓 ・血管 ・眼
9/20	ランチョンセミナー ※事前申込制
11/15	合併症③ 足

- ⚠ 開催日が奇数月第 3 金曜日から火曜日へ変更にな
りました。
- ⚠ 開催日の 13 時より受付を開始いたします。途中入
場・途中退場が可能ですので、ご都合に合わせてご
参加ください。
- ⚠ 事前のお申し込みは不要、料金は無料です。
- ⚠ 9/20 開催のランチョンセミナーのみ事前のお申込
みとお弁当が必要ですよ。
- ⚠ 詳しい内容が決定次第、院内各所にあります掲示板
や当院ウェブサイトでお知らせいたします。
- ⚠ ご自身やご家族のために糖尿病について詳しく知り
たい！と思う方ならどなたでも参加できますので、
お気軽にご参加ください。

「かかりつけ医紹介コーナー」を開設しました

当院は24時間365日、救急の患者さまを一人でも多く受
け入れられるよう体制を整えています。そのために、近隣
医療機関の先生方に症状の安定した患者さまの診療をお願
いし、地域全体で皆さんの病気や怪我を治療しています。
診察の際、当院の医師から「症状が安定してきたので、
近くの医療機関に通ってみては？」と言われたら、かかり
つけ医をお伝えください。

また「かかりつけ医などない。知らない。」という患者
さまには、当院4階の「かかりつけ医コーナー」で、お近く
の医療機関や症状に合った医療機関をご案内のうえ、紹介
状や添付資料をご用意いたします。

もちろん、緊急の手術や検査が必要になった場合には、
かかりつけ医からのご紹介にいつでも対応しています。



今月の TOPIC

携帯電話使用エリアを設置しました。

当院はこれまで院内での携帯電話の使用を禁止しておりましたが、2010年12月より一部のエリアで携帯電話の使用ができるようになりました。



▲西玄関待合

この看板が目印です!



▲4階図書コーナー



▲3階 整形外科病棟デイルーム



▲オペ室前待合



他の方の迷惑にならないように、マナーを守って使用してください。

編集後記

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。年が明け、当院のウェブサイトが新しくなりました。数ヶ月に亘り制作をしてきましたが、何か目標を持って物事に取り組み、それが達成した時の喜びは計り知れないものです。今年も目標を持ち、新しいことにチャレンジしていける1年にしたいと思っております。

望月

当院の基本理念

私たちの病院の使命—Mission—

質の高い急性期医療を通して地域社会に貢献します。

● 皆さまのご意見をお聞かせください。

皆さまのご意見を紙面に反映していきたいと思っておりますので、ご意見・ご感想などをぜひ広報室までお聞かせください。お待ちしております。

E-mail: kouhou@kmh.or.jp



ピンクリボン運動を応援します。



地域医療支援病院
菊名記念病院

〒222-0011 横浜市港北区菊名4-4-27

TEL: 045-402-7111(代) FAX: 045-432-2742

URL: <http://www.kmh.or.jp/> E-mail: kikuna@kmh.or.jp

発行人/菊名記念病院事務長: 加藤 宏 表紙の文字: 山本 謙